

上菅田中 学校だより



第2号 令和3年6月22日発行
校長 林 直美

上菅田中学校学校教育目標

学び合い、支え合い、高め合う

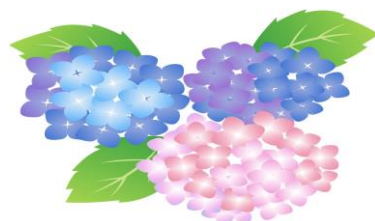
- 学びを深め、創造力と実践力を養う（知）
- 互いを認め、誠実に生きる（徳）
- 豊かな心と健康な体をつくる（体）
- 地域の一員、国際社会の一員として自立する（公・開）

第52回体育祭 三原色～つかめ彩れ舞い上がれ～

5月14日、五月晴れの元、第52回体育祭が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために様々な工夫をしながらの開催となりました。生徒たちの日頃の体育学習の発揮の場でもあることから、生徒たちの競技はしっかりと実施しようとして体育祭担当者と打ち合わせをしました。しかし、密を避けるという理由で、観客については来賓の方々をお招きすることはできませんでした。保護者の方々についても、密を避けるとともに、学校内での食事場所の提供が難しいことで、午前午後のどちらかを選んでもらっての観戦となりました。準備等感染状況を見ながらの対応で、周知徹底が十分できなかったことは、大変申し訳なく思っています。そうした中で、市村会長をはじめPTAの役員、委員の皆様には、受付・会場巡回・警備・撮影等、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

実行委員の3人の素晴らしい生徒宣誓から始まり、持久走、全員リレー、学級対抗リレー、工夫を凝らした選択種目、学年種目等々、生徒たちが力いっぱい取り組んでいる姿は素晴らしかったです。区の歌音頭は2年ぶりとのことでしたが、お師匠さん(吉野様)の指導をうけ、3年生も大勢参加して、楽しそうに踊っていました。エール交換もとても立派でした。圧巻は3年生のYOSAKOIでした。素晴らしいと噂には聞いていましたが、本当に素晴らしかったです。実は当日の朝、学年主任の天池先生に、コロナ感染症拡大防止のためのガイドラインに触れ、大きな声を出すのは避けてほしいとお願いしました。3年生のこれまでの練習、想いを考えると、非常につらい指示でした。結果、大きな声を出すので、マスクをして踊るということになりました。暑い中、熱中症の心配があります。しかし、ハードな練習をこなし取り組んできたことを考えると、やれると判断しました。天池先生をはじめ先生方、そして3年生は、それを理解し守りながらも、あの素晴らしい演技をやり遂げてくれました。本当に胸が熱くなりました。暑い一日でしたが、来場された多くの皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に体育祭を開催することができ、本当に感謝しています。

一昨年までは、体育祭や学校行事を普通に行うことができました。今となってはその普通がどんなに貴重なものであったかを思い知らされました。しかし、何もしていないで待っているわけにはいきません。私たちは今やれることを精一杯、できる範囲で様々な工夫をしながら取り組んでいくしかないと思います。チャレンジをしていきたいと思えます。生徒の皆さ



んや保護者の方々にご心配とご負担をかけないようにと努めていくつもりですが、どうしようもないことも多くあり、大変申し訳なく思っています。

ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

◆学校行事のお知らせ

- 1年遠足…6月25日(金)実施予定でしたが、天候により延期もあります。
- 2年自然教室…まん延防止等重点措置が適用されているため、県外へ行くことができなくなり、時期を8月27日～28日に変更しました。
- 3年修学旅行…同様に、時期を9月1日～3日に変更しました。
- ◆3年第1回進路説明会…6月25日(金) 体育館
- ◆区国際平和スピーチコンテスト…7月1日に境木中学校にてVTR審査

前任校でもお世話になっていた長島元教育委員さんから上菅田中学校の皆さんの役に立つならばと、【食育コラム】を寄稿していただけることになりました。長島先生は現在、横浜総合高等学校で「ようこそカフェ」の運営支援、横浜市食育フォーラム委員として「横浜の子どもが作る弁当コンクール」の審査委員長を務められています。季節ごとの食に関するコラム…ぜひお読みください!!

食で学ぶ 食を学ぶ

料理研究家 長島 由佳

新緑の中、あちらこちらの植え込みで色とりどりの紫陽花が華やかさを演出しています。青や紫の見慣れたものから品種改良された様々な品種に出会えることが、雨の中の移動を楽しいものに変えてくれています。多くの花言葉を持つ紫陽花ですが、その中に「家族団欒・家族の結びつき」という素敵な言葉を見つけました。

さて、2021年度 上菅田中学校の学校だよりで「食育コラム」を担当させていただきましたことになりました 長島由佳 です。横浜市の元教育委員として教育に関わり、そして横浜市食育推進計画の策定から、料理研究家・食育コーディネーターとして横浜市食育フォーラムに関わってきました。上菅田中の生徒・保護者・職員の皆さんに「食」をツールに、そして「季節の恵み」が感じられるようなコラムで繋がってほしいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、冒頭にも登場した「紫陽花」は、植え込みや庭を彩るだけではなく、和菓子店のショーケースにも登場します。薄ピンクや水色・薄紫に色付けした寒天液を薄く流し固め、4～5mm程の小角にカットしたものを、丸めた白餡の周りに彩りよくつけて、そこで咲いているかのように見せた「紫陽花」という名の和菓子です。

色付けには、赤や青の色粉を配合して作ることもできますが、紫キャベツを千切りにしてよく揉み出したものをお湯に入れて煮出した紫色の色水とレモン汁を利用し、濃度や赤みの有無を楽しみながら数種類の色水を作れば、自然の恵みを利用した優しい和菓子に仕上がります。紫陽花の葉にのせれば、その緑色とのバランスがとても美しく映えることでしょう。ただし、紫陽花の葉は食用にすると中毒症状を起こすことが報告されているので、あくまでも鑑賞用として扱ってください。

梅雨の休日、ご家庭で色とりどりの寒天液作りを楽しむのはいかがでしょうか。大人にとっては、理科の実験のような、美術の造形のような懐かしいひと時が生まれるのではないのでしょうか。そして優しさに包まれた「家族の団欒」が、

子どもたちの成長の栄養になっていくことを祈っています。

【中期学校経営方針】 次ページは令和元年度から令和3年度までの3年間の上菅田中学校の取組目標です。ご一読ください。